



平成 18 年 12 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（非連結）

平成 18 年 5 月 26 日

上場会社名 日本精蠟株式会社

(コード番号: 5010 東証 2 部)

(URL <http://www.seiro.co.jp>)

代 表 者 役職名 代表取締役社長 氏名 渡口 勝彦

問合せ先責任者 役職名 取締役 氏名 井上 寛 TEL(03)3523-3530

1. 四半期財務情報の作成に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の有無 : 有

法人税等の計上基準に簡便的な方法を採用しております。

その他影響額が僅少なものについても一部簡便的な方法を採用しております。

最近会計年度からの会計処理の変更の有無 : 有

(固定資産の減損に係る会計基準)

当期より「固定資産の減損に係る会計基準」(「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」(企業会計審議会平成 14 年 8 月 9 日))及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 6 号平成 15 年 10 月 31 日)を適用しております。これにより、税引前四半期純利益は 118 百万円減少しております。

(修繕引当金)

製造設備の定期修繕に要する支出は、従来、支出時に費用計上しておりましたが、当期よりその支出額のうち、当期に負担すべき費用を修繕引当金として計上することといたしました。この変更は、次回の定期修繕を要する期間までの稼働期間に対応した費用按分を行うことにより、期間損益の更なる適正化及び財務状況の健全化を図ることを目的として行ったものであります。この結果、従来の方法によった場合に比べ、営業利益及び経常利益は 33 百万円、税引前四半期純利益は 194 百万円それぞれ減少しております。

2. 平成 18 年 12 月期第 1 四半期財務・業績の概況（平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）

(1) 経営成績進捗状況

	売 上 高		営業利益		経常利益		四半期(当期) 純 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成 18 年 12 月期第 1 四半期	9,373	46.5	621	13.8	531	17.7	149	66.8
平成 17 年 12 月期第 1 四半期	6,399	0.5	546	-	451	-	450	-
(参考)平成 17 年 12 月期	30,762	5.9	2,751	51.5	2,458	62.8	2,133	56.6

	1 株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整 後 1 株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
平成 18 年 12 月期第 1 四半期	6	67	-	-
平成 17 年 12 月期第 1 四半期	20	10	-	-
(参考)平成 17 年 12 月期	94	58	-	-

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 1 四半期(平成 18 年 1 月～3 月)のわが国経済は、米国や中国の景気拡大を背景に輸出が増加したのに加え、企業収益の改善や個人消費の緩やかな回復等を背景に景気は総じて底堅い動きで推移しました。一方、原油相場はイランの核問題やナイジェリアの政情不安等を背景に WTI 原油価格が年初から上昇を続け 69 ドル/バレルをピークに一時 57 ドル/バレルまで下落したものの、その後再び騰勢を強め史上最高値を更新する勢いで上昇する等引き続き高値圏で推移しました。

このような状況の中で、原油油価格の上昇に対応するため前期末に発表したワックス製品の値上げ貫徹や重油の採

算販売に引続き注力する一方で前期で完結を見た中期経営計画に続く新・中期経営計画の策定等に取り組んできました。この結果、主製品のワックス販売は前年同期に比較して販売数量では39トン増の22,881トン、販売高では国内向け製品値上げは不十分ながらも海外向けは旺盛な需要を反映して順調に浸透したことにより795百万円増の3,518百万円の実績となりました。また、重油販売は市況が再び騰勢を強めた原油相場に連動し上昇したことから当初予想に反して引続き堅調に推移し、前年同期と比較して販売数量では308KL増の121,354KL、販売高では2,187百万円増の5,842百万円の実績となりました。これにより、当第1四半期の実績は前年同期に比較して売上高では2,973百万円増の9,373百万円、経常利益では80百万円増の531百万円になりました。一方、四半期純利益では当初計画どおり固定資産の減損会計適用及び会計処理の変更による過年度分修繕費を特別損失に計上したことにより、前年同期に比較して300百万円減の149百万円の実績となりました。

(2) 財政状態の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
平成18年12月期第1四半期	30,513	7,493	24.6	334 63
平成17年12月期第1四半期	26,227	5,726	21.8	255 68
(参考)平成17年12月期	27,946	7,496	26.8	334 09

【キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
平成18年12月期第1四半期	512	353	1,926	2,870
平成17年12月期第1四半期	582	63	189	2,828
(参考)平成17年12月期	1,655	518	1,447	1,809

[財政状態の変動状況に関する定性的情報]

当第1四半期における総資産は、30,513百万円、負債合計は23,020百万円、資本合計は7,493百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況は下記のとおりであります。

当第1四半期における現金及び現金同等物(以下[資金]という)は、前期に比較して1,060百万円増加し、当第1四半期末残高は2,870百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、512百万円となりました。これは主として、売上債権の増加額798百万円、たな卸資産の増加額889百万円、仕入債務の増加額471百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、353百万円となりました。これは、徳山工場の設備投資額353百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、1,926百万円となりました。これは主として、長期借入金の返済額609百万円、短期借入金の純増額2,536百万円によるものであります。

添付資料

(要約)四半期貸借対照表、(要約)四半期損益計算書、(要約)四半期キャッシュ・フロー計算書

3. 平成 18 年 12 月期中間期の業績予想 (平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
今回修正予想 (A)	18,610	905	365
前回発表予想 (B)	16,260	580	180
増減額 (A - B)	2,350	325	185
増減率 (%)	14.5	56.0	102.8

(参考) 1 株当たり予想当中間期純利益 16 円 30 銭

[業績予想に関する定性的情報]

当中間期の業績見通しにつきましては、原油相場の高騰に伴う原料油調達コスト上昇によるワックス販売の採算悪化が懸念されるものの、重油販売は史上最高値更新後もなお騰勢を強める原油相場や 4 月以降の石油各社の定期補修による稼働率の低下等の影響を反映して引続き堅調に推移することが想定されます。なお、ワックス販売の採算是正のため、前期末に引続き 6 月 1 日出荷分よりの製品値上げを発表いたしました。

これにより、中間期業績見通しは平成 18 年 2 月 24 日公表の中間業績見通し(上記(B)欄)と比較して、売上高では 2,350 百万円増の 18,610 百万円、経常利益では 325 百万円増の 905 百万円、中間純利益では 185 百万円増の 365 百万円を見込んでおります。

ただし、上記の中間期業績見通しは現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後さまざまな要因により予想値と大きく異なることがあります。

なお、通期の業績予想につきましては、高止まりする原料油価格や重油市況の動向に加え為替の動向等が依然として先行き不透明な状況にあり、正確に見通すことが出来ないため中間決算発表時に公表の予定です。

1.(要約)四半期貸借対照表

(単位：百万円未満切捨)

科 目	期 別	当四半期	前年同四半期	増減		(参考)
		(平成18年12月期 第1四半期)	(平成17年12月期 第1四半期)	金 額	増減率	平成17年12月期 金 額
(資産の部)						
. 流 動 資 産		16,117	11,966	4,151	34.7	13,418
現金及び預金		2,870	3,005	134	4.5	1,809
受取手形		347	343	4	1.2	384
売掛金		4,841	3,357	1,483	44.2	4,005
たな卸資産		7,654	4,788	2,866	59.9	6,765
その他の		407	474	67	14.2	457
貸倒引当金		4	3	0	17.1	4
. 固 定 資 産		14,395	14,261	134	0.9	14,528
有形固定資産		13,579	13,399	179	1.3	13,742
無形固定資産		20	24	4	16.9	22
投資その他の資産		795	836	40	4.9	763
資 産 合 計		30,513	26,227	4,285	16.3	27,946
(負債の部)						
. 流 動 負 債		15,425	12,310	3,115	25.3	12,281
支払手形		285	507	222	43.8	315
買掛金		3,143	1,255	1,888	150.3	2,620
短期借入金		8,547	7,510	1,037	13.8	6,010
一年内返済予定長期借入金		2,139	2,390	251	10.5	2,207
賞与引当金		71	87	16	18.6	31
修繕引当金		221	-	221	-	-
その他の		1,017	558	459	82.3	1,096
. 固 定 負 債		7,594	8,191	597	7.3	8,168
社 債		200	200	-	-	200
長期借入金		3,673	4,166	493	11.9	4,214
再評価に係る繰延税金負債		3,486	3,528	42	1.2	3,528
退職給付引当金		153	295	142	48.1	156
その他の		81	-	81	-	68
負 債 合 計		23,020	20,501	2,518	12.3	20,450
(資本の部)						
. 資 本 金		1,120	1,120	-	-	1,120
. 資 本 剰 余 金		14	14	-	-	14
資本準備金		14	14	-	-	14
. 利 益 剰 余 金		1,093	629	1,723	-	1,053
利益準備金		225	208	17	8.3	208
任意積立金		500	107	392	363.5	107
四半期(当期)未処分利益及び 未処理損失()		368	945	1,314	-	737
. 土 地 再 評 価 差 額 金		5,134	5,197	62	1.2	5,197
. そ の 他 有 価 証 券 差 額 金		133	24	108	436.3	114
. 自 己 株 式		2	0	2	314.7	2
資 本 合 計		7,493	5,726	1,766	30.9	7,496
負 債 ・ 資 本 合 計		30,513	26,227	4,285	16.3	27,946

2.(要約)四半期損益計算書

(単位：百万円未満切捨)

科 目	期 別	当四半期	前年同四半期	増減		(参考)
		(平成18年12月期 第1四半期)	(平成17年12月期 第1四半期)	金 額	増減率	平成17年12月期 金 額
. 売 上 高		9,373	6,399	2,973	46.5	30,762
. 売 上 原 価		8,132	5,302	2,830	53.4	25,675
売上総利益		1,240	1,097	142	13.0	5,087
. 販売費及び一般管理費		618	551	67	12.2	2,335
営業利益		621	546	75	13.8	2,751
. 営業外収益		13	13	0	4.7	84
. 営業外費用		103	107	3	3.6	376
経常利益		531	451	80	17.7	2,458
. 特別損失		279	-	279	-	84
税引前四半期(当期)純利益		252	451	199	44.2	2,374
税金費用		102	1	101	6,094.4	240
四半期(当期)純利益		149	450	300	66.8	2,133

3.(要約)四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円未満切捨)

科 目	当四半期 (平成18年12月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成17年12月期 第1四半期)	(参考) 平成17年12月期
	金 額	金 額	金 額
.営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期(当期)純利益	252	451	2,374
修繕引当金の増加額	221	-	-
売上債権の増減額	798	402	286
たな卸資産の増加額	889	319	2,295
利息の支払額	84	99	347
その他	787	146	2,211
営業活動によるキャッシュ・フロー	512	582	1,655
.投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形・無形固定資産の取得による支出	353	63	695
その他	0	0	177
投資活動によるキャッシュ・フロー	353	63	518
.財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額	2,536	897	601
長期借入金の純減額	609	707	843
その他	-	0	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,926	189	1,447
.現金及び現金同等物の換算差額	-	-	0
.現金及び現金同等物の増減額	1,060	708	309
.現金及び現金同等物の期首残高	1,809	2,119	2,119
.現金及び現金同等物の 四半期(期末)残高	2,870	2,828	1,809